

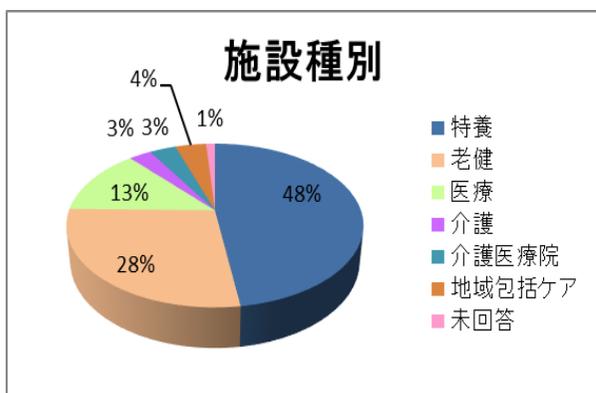
～H I V陽性者の受け入れについての調査結果について～

前回のエイズ通信の中でも触れたように、HIV・AIDS 患者の高齢化が進む昨今、周囲の誤った理解や偏見のために、自分の生活する地域において十分な医療や介護を受けられ

ない、受け入れ先がないということが課題とされています。

このような状況を踏まえ、この度、エイズとソーシャルワーク委員会では、県内の介護施設・療養病床等を対象に、H I V陽性者の受け入れについてのアンケート調査を行いました。今回のエイズ通信では、その調査結果の一部を会員の皆様にお示しいたします。

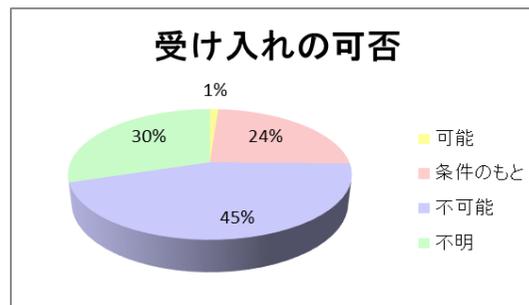
- 調査機関：令和元年5月14日～令和元年6月30日
- 調査対象：県内の介護施設・療養病床等、303施設
- 回答数：174施設
- 後援：福島県



※「医療」→医療療養型、「介護」→介護療養型

調査は所定のアンケート用紙を用い、施設管理者宛、郵送で行ないました。最も施設数の多い特別養護老人ホームを中心に、多数の関係機関より御協力をいただくことができました。

調査では、H I V陽性者の受け入れの経験の有無、受け入れの可否、受け入れの条件や、受け入れの支障となっている課題等について回答をいただきました。



結果からは、受け入れの経験がある施設が3件のみ。受け入れを可能とする施設が2件(1%)、条件のもとで受け入れ可能とする施設と合わせても全体の25%に止まることがわかりました。

また、受け入れの条件や受け入れを不可能とする要因には、「バックアップ体制」や「周囲の理解」、「感染への不安」といった回答が多く、根強い偏見や誤解、知識不足が背景にあるのではと思います。

その他、自由記載の項目では、非常に多くの御意見を頂戴しました。ありのままの現状が記載されたものや、建設的な意見や前向きな意見もあり、各施設が今回のアンケート調査を通して、H I V陽性者を取り巻く現状に対し、真摯に向き合っていただけのように感じました。

《研修会開催について》

現在、エイズとソーシャルワーク委員会では、H I V陽性者の受け入れ施設が少しでも増えるよう、会員の皆様とアンケート調査に御協力いただいた医療介護従事者の方々を対象とした、研修会を企画しています。講師に、「福島県立医科大学附属病院 血液内科 木村 哲 先生」をお招きし、HIV/AIDSの基礎知識、福島県のエイズ患者における現状と今後の課題等についてお話しいただく予定です。また、併せて講演の前後にアンケート調査の結果報告と事例報告を予定しています。

研修会の詳細については追って案内致しますので、多くの会員の皆様に御参加いただきますよう、お願いいたします。